

## 実用新案公報

昭33-10983

公告 昭33.7.28 出願 昭31.4.11 実願 昭31-18180

出願人 考案者 大瀧 信四郎 川崎市溝の口192  
代理人 弁理士 市川 一男 外2名

(全2頁)

## 二重蓋容器

## 図面の略解

第1図は一部を切断した本案二重蓋容器の正面図、第2図はその平面図で、第3図は外蓋を取り外した状態を示す斜面図である。

## 実用新案の説明

本案はバター、マーガリン、ジャム、アイスクリームその他の食品或は各種の物質を収容するのに適する二重蓋容器の改良構造に関するものである。

図面において1はカップ状をなす容器主体で、その内側に内蓋2を嵌込むと共にその上端部外周に鈍縁3を設ける。この鈍縁3は外方がやや低くなるように傾斜させるのが好らしい。4は容器主体1の上部にかぶせる外蓋で、その周縁には容器主体1に設けた鈍縁3に重ねてこれと接着せしめるための鈍縁5を設ける。

本案の容器は以上のように構成されているので、容器主体1内に収容物を充填し、内蓋2を嵌込んだ後、容器主体の上部に外蓋4をかぶせ、その鈍縁5を容器主体の鈍縁3の上に重ね両者を接着させれば容器は完全に密封される。

なお容器主体1、内蓋2、外蓋3は収容する物

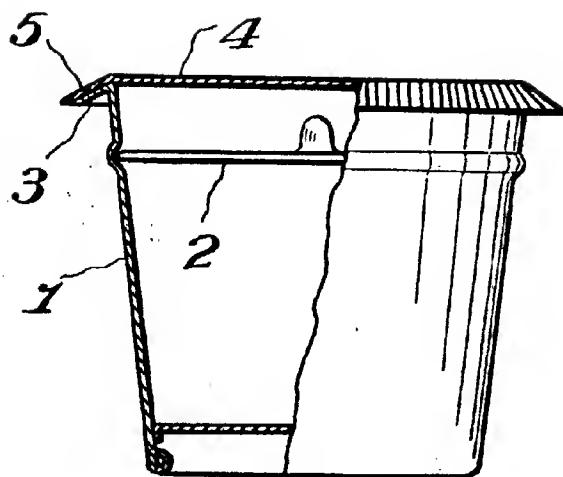
品の性質に従つて適当に選ぶもので例えば防水耐油耐酸等の処理を施した厚紙合成樹脂その他適宜の材料を以て作製する。又鈍縁5、3の接着にはこれら材料の性質に応じて最も適切な接着剤又は接着手段を選ぶものとする。

本案の容器は以上のように構成されているので、その構造極めて簡素で安価に提供し得るのみならず二重蓋による完全密封のため内容物の保存を良好ならしめると共に容器自体の強度を増すことができるもので実用上まことに有益である。又内蓋と外蓋との間の空隙部は広告や説明書の類又は内容物を使用するとき必要な附属品、例えばスプーンなどを収納するのに利用することができて甚だ便利である。なお使用に当つては接着した鈍縁の基部を鋏等で切取つて外蓋を取り去り内容物のなくなる迄内蓋を使用するものとする。

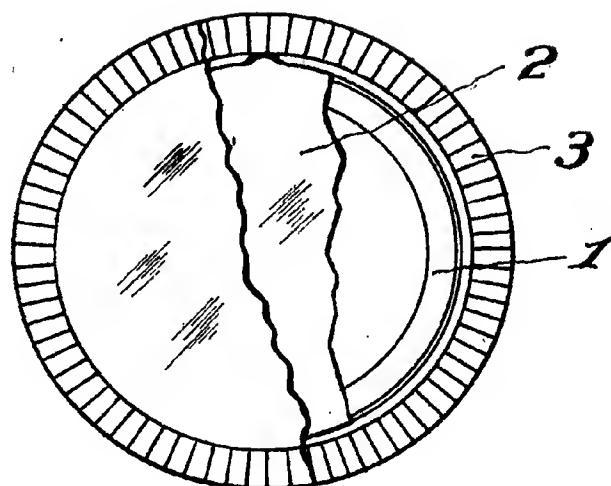
## 登録請求の範囲

図面に示すように内側に内蓋2を嵌込みその上端部外周に鈍縁3を設けた容器主体1の上部に外蓋4をかぶせ、外蓋4の外周に設けた鈍縁5を前記容器主体に設けた鈍縁3に重ね接着して成る二重蓋容器の構造。

第1図



第2図



第3図

